

天文学とプラネタリウム

第131回



今月のお題

宇宙図@オンラインを公開!



宇宙図シリーズの最新コンテンツ、宇宙図@オンラインがお目見えです。

高梨直紘 (東京大学)

平松正顕 (国立天文台子リ観測所)



www.tenpla.net

これまでこのコラムでも何回か取り上げてきた、一家に1枚宇宙図。最新の天文学の成果に基づき、宇宙全体を俯瞰する図としてこのポスターを作ったのは、2007年のことでした。以来、天ブラの活動の軸のひとつとして、改訂版や関連書籍の発行、講演会やサイエンスカフェの実施など、宇宙図を使ったさまざまな活動に取り組んできました。

その結果、私たちが見つけたのは宇宙図の価値でした。ポスターを作った当初はあまり意識していませんでしたが、宇宙図は先鋭的で専門的な天文学の各分野の話題をつなぎ、全体像を見渡すにはたいへん便利な図だったのです。今日のイベントで出てきたこの話題は、宇宙のどこと関係する話なのか。宇宙図を介して考える事で、個別の話題が宇宙全体とどう関係しているのか、以前聞いた別の話とどう関係しているのか、そういったことを把握しやすくなる。そんな大事な機能が、宇宙図には備わっていたのです。

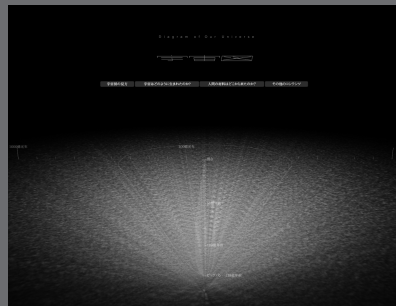
宇宙図のこの力をもっと活用するためにはどうしたら良いか。ひとつの可能性は、デジタルメディアの活用です。これまでも、宇宙図の

内容は2007年版、2013年版でそれぞれウェブサイトとして整理され、公開されてきました。それぞれ工夫の凝らされた綺麗なサイトなのですが、内容の完成された静的なサイトで、新たなコンテンツを追加できるような構造にはなっていませんでした。そこで今回、私たちは子どもゆめ基金の助成を受けて、オンラインにある情報を俯瞰するための仕組みを備えた「宇宙図@オンライン」を作成しちやいました。

ネット上の情報をつなげていく

「宇宙図@オンライン」は、今回新たにプログラム言語「Unity」で書き下されたオンラインコンテンツです。インタラクティブな操作系の下で、宇宙図のさまざまなコンテンツを楽しめるような仕組みになっているのですが（遊んでみてください）、もっとも大事な特徴は、宇宙図にさまざまなネット上の情報を結びつけていくための仕組みを備えたことです。[その他]の「天体」をクリックしてみてください。一般によく見かける天体画像が、宇宙図のどこと結びついているのかがわかるようになっていきます。

3月18、19日は大阪で濃くて熱いイベント開催!



宇宙図@オンラインのメイン部分。

▶ 宇宙図@オンライン

<http://www.tenpla.net/babel/>

まだまだデータ量は少なく、かつ、画像しか用意されていないのですが、これは大事な一歩です。ネット上にさらされる無数のデータを、宇宙図上にリンクさせていく。そんなことを可能にする仕組みができたのです。

今後、私たちはこの宇宙図@オンラインを少しずつ育てていくつもりです。これを使ってどう遊べばいいのかは、私たちだけでなく、多くの方に一緒に考えてもらった方が可能性は広がるはず。ぜひ一緒に育ててもらえればと思いますので、どうぞお見知りおきを!